

# 中ノ口緑地公園横

中ノ口緑地公園は、愛本橋の500m下流右岸側にあり、黒部川の様子を観察しやすいポイントの一つです。このポイントの長所は、駐車場、トイレの心配がいないこと、堤防が階段状になっており、川原へおりやすく、増水時の避難もしやすいこと、川原も観察や実験に必要な広さがあることです。礫は直径30cm~40cmとやや大きめのものが多くありますが、河道の蛇行やそれに伴う侵食、堆積も観察できます。また、堤防への入口には、人工的な水路もあり、黒部川が増水しているときは川原へ降りなくても、一応の代用実験・観察が可能です。なお、このポイントは、東京書籍の「新編 新しい理科」教師用指導書「北陸・信越版」地方版資料に、黒部川中流の様子が観察できる場所として紹介されています。

観察対象	河川中流部
観察できる人数制限	特になし
流速の実験の安全性	堤防が階段状になっているため、避難しやすい。流速の実験については、流れが速い場合があるので、つりざおとペットボトルを用意するとよい。
バス駐車スペース	あり
トイレ	あり



駐車場から堤防までは近い



階段状になっている堤防



河床の様子



天気が悪いときにかわりに使うことができる人工水路

